

(案)

令和 5 年度広島市幼稚園教諭・保育士等の相互参加可能な研修

はじめに

本市では、「未来を担う子どもの育成こそが、これからの広島発展の礎となる。」という基本的な考え方のもと、多様な子ども・子育て支援施策を総合的に推進しています。

また、乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期であり、全ての子どもに対して、遊びや生活の中で質の高い幼児教育・保育を行う必要があります。

そのための取組のひとつとして、幼稚園教諭・保育士等の人材育成について、専門的見地から幅広く意見聴取するため、平成31年度より、幼児教育・保育に係る関係団体代表者及び学識経験者を構成員とした「人材育成のための意見交換会」（以下、「意見交換会」という。）を開催し、効果的な研修について議論しています。

人材育成を進めるに当たっては、目指す保育者の姿を明確にするとともに、必要となる資質・能力を養成していくための研修が重要となります。そのためには、全ての幼稚園教諭・保育士等が、自身のキャリアステージに応じて、幼児教育・保育に必要な知識や技術を身に付けながら、積極的に課題の解決に取り組み、一人一人の子どもにとって最善の幼児教育・保育を提供することができるよう、絶えず保育者としての意識の向上が図れるような研修を実施していく必要があります。

また、こうした研修を計画していくに当たっては、幼児教育・保育現場の実情を踏まえ、幼稚園教諭・保育士等が自身に必要な研修を受講できる環境が必要になります。

このため、令和5年度は、幼稚園教諭・保育士等が研修を受けやすい環境を整えるための第一歩として、意見交換会の議論を経て策定した「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」を活用し、幼稚園教諭・保育士等が成長段階ごとに身に付ける資質・能力を確認しながら、各団体の実施している研修の内容のイメージを持って学べるようにするとともに、各団体が実施する一部研修の相互参加について取り組むこととしました。

今後も、幼稚園教諭・保育士等が目指す保育者としての幼児教育・保育が実践できるよう研修の充実について段階的に取組を進めていくことで、全ての幼稚園教諭・保育士等の資質・能力の向上を図り、よりよい幼児教育・保育の提供を目指していきます。

広島市乳幼児教育保育支援センター

各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力（区分番号確認用）

この表は、幼稚園教諭・保育士等が、子どもを愛し、守り、支えながらその育ちを見通して援助するなど、幼稚園教育要領・保育所保育指針等に基づいた幼児教育・保育の提供に当たって、成長の段階ごとに身に付けるべき資質・能力を確認するための指標としてまとめたものです。

区分	基礎形成期（A）		成長期（B）		発展期（C）		充実・深化期	
	クラス担任・学級担任など		学年主任、チーフ、主任、副園長など		充実・深化期Ⅰ（D）		充実・深化期Ⅱ（E）	
キャリアステージの基盤になる資質・能力	倫理観（ア）	①社会のルールやマナーを守り、他者の人権や人格を尊重して行動する。 ②園の方針を理解し、これらに則して行動する。			③高い規範意識に基づき行動するとともに、他の職員が社会人として成長できるよう支援する。 ④園の方針について理解を深めるとともに、他の職員の理解を助ける。		⑤園の責任者として、園の方針を示し、関係法令等を踏まえた行動をする。	
	責任感（イ）	①子どもの健康・安全を確保し、情緒の安定した生活ができる環境の構築や一人一人の子どもに応じた援助など、幼稚園教諭・保育士等としての役割を理解する。 ②園の一員として、状況に応じて自ら考え行動するとともに、職責に応じた業務を遂行する。 ③経験を積み重ねながら、業務上必要となる知識や技能について主体的に学び続ける。 ④課題に直面した場合に、自らの考えを持ちつつ、先輩職員と相談するなどして、より良い解決策を見出す。			⑤園での役割や幼稚園教諭・保育士等としての役割を果たすとともに、他の職員がその役割を果たせるよう支援する。 ⑥社会の一員及び園の一員として行動をすることや、幼稚園教諭・保育士等として主体的に学び続けることについて、自身が取り組むのみならず、他の職員の意欲を高めながら共に学び合う。 ⑦他の職員の業務の進捗状況を把握し、園内業務を円滑に進める。 ⑧社会環境が変化の中で、新たに発生する課題等に対して、園内で連携・協力しながら、その解決に向けて前向きに取り組む。		⑨園の責任者として、職員が園の方針に則して業務を遂行できるよう、全体調整を図る。 ⑩保護者、地域、関係機関の理解と協力の下、園の社会的な役割を果たすことができるよう行動する。	
	協調性（ウ）	①伝え方、話の聞き方など、コミュニケーションに必要な手立てを身に付ける重要性を理解する。 ②他の職員や保護者、地域、関係機関と良好な関係を構築することの重要性を理解する。			③良好な人間関係の下で職員が安心して働くことができるよう、働きやすい職場風土の醸成に取り組む。 ④保護者、地域、関係機関と良好な関係を構築するための手立てを身につけるとともに、他の職員がその重要性を理解し、手立てを身に付けることができるよう支援する。		⑤園の責任者として、職員や保護者、地域、関係機関と良好な関係を構築する。 ⑥働きやすい職場風土が醸成される環境づくりに取り組む。	
	幼児教育・保育を構想する力（エ）	①園の方針を理解する。 ②子どもの興味や関心を捉える。 ③保育実践時の子どもの姿を予想する。 ④安全確保、活動時間、援助方法などを踏まえた環境構成を工夫する。 ⑤特別な配慮を要する子どもに対する援助について先輩職員等に相談しながら考える。 ⑥子どもの姿を、活動内容を中心に先輩職員と共に振り返り、今後の計画に生かす。	⑦園の方針を的確に踏まえる。 ⑧子どもの発達の実情を捉える。 ⑨保育実践を終った後の子どもの姿を予想する。 ⑩子どもが自ら環境に関わり、様々な活動を展開し、必要な体験を得られる環境構成を工夫する。 ⑪特別な配慮を要する子どもに関する専門的な知識を身に付けながら、子ども同士が関わり合い、共に育つことができるよう手立てを考える。 ⑫子どもの姿を、その背景にある心情も想像しながら他の職員と共に振り返り、今後の計画に生かす。		⑬園の方針を踏まえた幼児教育・保育となるよう、他の職員の職員からの相談に応じるなど、共に学び合いながらその成長を支援する。 ⑭幼児教育・保育の構想に必要な視点や考えを園内で共有する。 ⑮保育実践を通して子どもの育ちと他の職員の成長を予想する。 ⑯子どもの発達段階、集団、生活の連続性などを踏まえながら、子どもの姿を予想する。 ⑰知識と経験に基づく子ども理解の下、子どもが主体的に遊び、安心して活動することのできる環境構成を考える。 ⑱特別な配慮を要する子どもに関する専門的な知識や経験を生かし、長期的な視点から、集団生活を通して子どもの全体的な発達を支える具体的な手立てを考える。 ⑲他の職員が子どもの実情を踏まえて計画を見直しできるよう、実践を共に振り返りながら支援する。		⑳園長の責任の下、全職員が参画し、園の理念や建学の精神等を共有しながら、教育課程や全体的な計画を作成する。 ㉑子どもや保護者、地域、関係機関の実情を捉え職員と共有する。 ㉒積極的に研修に参加するなど、幼児教育・保育に関する知見を広げ、自らの資質・能力の向上を図る。 ㉓園内外での研修等による学びの機会を設け、職員の資質・能力の向上を図る。 ㉔園の責任者として、より質の高い幼児教育・保育を提供するため、園の自己評価の充実を図り、組織的・継続的な改善策を講じる。	
	幼児教育・保育を実践・展開する力（オ）	①子どもの気持ちを尊重する。 ②楽しみながら、子どもと積極的に向き合う。 ③子どもの概ねの発達を捉え、援助する。 ④子どもの姿から、子どもの興味や関心を捉え、環境を構成する。 ⑤子どもの主体的な活動に触れ、子どもに対する基本的な関わり方を習得する。 ⑥特別な配慮を要する子どもに対する援助の視点を踏まえ、子どもが安心して過ごすことができるよう必要な手立てを講じる。 ⑦計画に基づいて実践し、経験を積み重ねながら、子どもの姿を捉える力を養い、今後の計画に反映させる。	⑧子どもを尊重し、受容的・応答的に関わる。 ⑨子どもの主体的な活動を見守りながら、必要に応じて、一人一人の子どもや集団に対する援助を行う。 ⑩子どもの心身の発達や活動の実態など、個人差を詳細に捉え、援助など、⑪子どもが興味や関心を持つ環境を柔軟に再構成し、子どもの興味や関心を広げる。 ⑫子どもがより主体的に活動を楽しみ、多くの体験を得られるよう関わる。 ⑬特別な配慮を要する子どもに関する専門的な知識を生かし、子ども同士が共に活動を楽しめるよう援助する。 ⑭実践の中で、多角的な視点から子どもの興味や関心を捉え、計画の改善を図る。		⑮他の職員の目標となるよう、保育実践を行う。 ⑯他の職員の強みや改善点を踏まえ、その実践・展開を支援する。 ⑰生きる、育つ、守られる、参加するという権利を尊重して子どもと関わる。 ⑱受容的・応答的であることや意図的に見守ることなど、一人一人の子どもや集団に柔軟に応じる。 ⑲子どもの発達過程、集団性、生活の連続性などを踏まえ、子どもの得る経験が、より良い育ちにつながるよう、実態に応じて適切に関わる。 ⑳子どもの興味や関心を捉え、子どもが自ら関わりたくなる環境を構成する。 ㉑知識と経験に基づく子ども理解の下、子どもと関わり、主体的な活動を引き出す。 ㉒特別な配慮を要する子どもに関する専門的な知識と経験に基づき、子ども同士が互いを感じ、理解しながら関わり合うことができるよう援助する。		㉓園の理念や建学の精神に基づく視点から、園内の保育実践の充実を図る。 ㉔保育実践中の職員や子どもを見守り、職員の成長や課題を捉え、職員の資質・能力の向上につながる手立てを講じる。 ㉕保護者、地域、関係機関から、園の取組に関する理解と協力を得られるよう、また、他園と幼児教育・保育の質を高め合うことができるよう、公開保育や情報提供等に取り組む。	
	組織を運営する力（カ）	①園内での役割分担に基づいた各担当業務の内容を理解する。 ②先輩職員と連携・協働しながら、担当する子どもの保育やクラスの運営を行う。 ③担当する役割を果たすため、必要に応じて保護者、地域、関係機関と連携・協働する。	④園内組織の各役割を踏まえ、園全体の業務の進捗状況を確認しながら、担当業務を遂行する。 ⑤担当する子どもの保育やクラスの運営を行いながら、進んで園運営に参画する。 ⑥園内組織における自身の役割に応じて、保護者、地域、関係機関と適切に連携・協働する。		⑦園運営についての共通理解を図り、園全体の業務を調整する。 ⑧他の職員と協力しながら、園の抱える課題等に組織的な対応をする。 ⑨他の職員の業務を支えるとともに、園長を補佐するなど、積極的に園運営に参画する。 ⑩園内研修の企画・運営などを通して、他の職員が幼児教育・保育に必要な力を身に付け、組織の一員として活躍できるよう育成を図る。		⑪園内における各役割を職員が理解し、担当業務を遂行できるよう、園内の組織体制や園の地域における役割を示し、園運営を行う。 ⑫職員が適切な役割分担の下、協力して園運営に参画することができるよう、必要となる人材を育成する。 ⑬地域に開かれた幼児教育・保育を提供するため、保護者、地域、関係機関との連携体制を構築する。 ⑭園内組織の機能を高めることや、円滑な園運営を行うため、自己評価や外部評価などにより継続的な改善を行う。	

令和5年度広島市幼稚園教諭・保育士等の相互参加可能な研修計画

1 目的

幼稚園教諭・保育士等が、成長段階ごとに身に付ける資質・能力や受講する研修内容を確認しながら積極的に学び、一人一人の子どもにとってより質の高い幼児教育・保育を提供できるよう、各団体が実施する一部研修の相互参加に取り組み、その資質・能力の向上を図る。

2 対象

原則、広島市に所在する幼稚園・保育園・認定こども園等の幼稚園教諭・保育士等

3 研修一覧

令和5年度に開催を予定している研修は以下の通りです。各研修の詳細については、各研修メニューで確認してください。

対 象	研修 No	研修名 【主催団体】	必要となる力 (区分番号)	開催日
基礎形成期	1	令和5年度第1回広島市幼稚園教諭・保育士 新規採用者合同研修会 【広島市乳幼児教育保育支援センター】	例 A (オ) ①②③	月 日
	2	令和5年度第2回広島市幼稚園教諭・保育士 新規採用者合同研修会 【広島市乳幼児教育保育支援センター】	調整中	月 日
成長期 発展期	3	園内研修コーディネーター養成講座 「マネジメントとは」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	4	園内研修コーディネーター養成講座 「公開保育カンファレンスとは」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	5	園内研修コーディネーター養成講座 「保育を伝えよう ポスター作製と発表」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
調整中	6	幼稚園教育実践研修 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考 慮した領域「環境」の指導の理解と実践 【広島市教育委員会教育センター】	調整中	月 日
	7	幼稚園教育実技研修 「幼児期の発達に応じた運動遊びの指導のポイ ント」 【広島市教育委員会教育センター】	調整中	月 日

(イメージ)

調整中	8	保育講座研修 「健康・安全」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	9	保育講座研修 「食育」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	10	保育講座研修 「あそびと発達」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	11	保育講座研修 「保育実践」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	12	保育講座研修 「家庭支援」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	13	特別講座 「虐待対応」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	14	特別講座 「人権啓発」 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	15	特別講座 「特別研修」(子ども主体の保育) 【広島市保育連盟】	調整中	月 日
	16	特別講座 「特別研修」(保育実践について) 【広島市保育連盟】	調整中	月 日

【各キャリアステージにおいて必要となる力（区分番号確認表）】

二次元コード



研修メニュー

研修 No〇 「〇〇〇〇〇研修」

1 本研修の位置付けと身に付ける力

- ・各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力（区分確認用）に記載している区分を記載する。

2 内容

- ・各研修の主題等がわかるようを記載する。
- ・講話がある場合は講師名と略歴を記載する。

3 日時・場所等

- ・開催年月日、受付開始時刻、研修の開始及び終了予定時刻を記載する。
- ・会場名や所在地等を記載する。
- ・詳細が未定の場合は、その旨を記載し、おおむねの時期等を記載する。
- ・オンライン開催の場合は、研修の形態（双方向型、オンデマンド型等）や使用するアプリ等を記載するとともに、参加に必要な ID、パスコード、URL などを参加者へ別途送付する旨を記載する。

4 日程

- ・必要に応じて当日の流れ等を記載する。

5 その他

- ・筆記用具、実践した内容が分かる写真など、研修に応じた持参物、注意事項等を記載する。

研修メニュー（例）

研修 No〇 「令和４年度広島市幼稚園教諭・保育士新規採用者合同研修会」

１ 本研修の位置付けと身に付ける力

キャリアステージ	(A) 基礎形成期
資質・能力	(オ) 幼児教育・保育を実践・展開する力
	① 子どもの気持ちを尊重する。
	② 楽しみながら、子どもと積極的に向き合う。
	③ 子どもの概ねの発達を捉え、援助する。

２ 内容

講 話：「保育者としての私は、どのような姿勢で子どもと向き合えば良いのか？」

講 師：中坪 史典 氏

- ・ 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授
- ・ 広島大学大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設 施設長

グループワーク：４、５人のグループで講話の主題に沿って意見交換

３ 日時・場所等

日時：令和４年７月１３日（水）・２０日（水）（同じ内容で２日間開催）

１４：００～１７：００（受付：１３：３０～）

場所：JMS アステールプラザ(多目的スタジオ)

広島市中区加古町４番１７号

４ 日程

13:30	14:00	14:05		15:05	15:20		16:20		16:50	17:00
受 付	開 会		講 話 60 分	休 憩	グ ル ー プ ワ ー ク 60 分		講 評 30 分		閉 会	

５ その他

- ・ 受講用の机がない会場となりますので、メモ等を取る際に使用するクリップボードは各自でご持参ください。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体調・体温の申告、マスクの着用、手指の消毒等をお願いいたします。